

17. ^{99m}Tc -MAA の腹腔内注入により交通性陰嚢水腫を証明した腹膜透析患者 (CAPD) の1症例

徳田 修 菅 一能 由水多津子
河村 光俊 副島 京子 折橋 典大
中西 敬 (山口大・放)
吉弘 悟 城嶋 和孝 (同・泌)
宇津見博基 杜下 淳次 山田 典将
(同・放部)

18. 腹腔シンチグラフィ——癌性腹膜炎に対するリザーバー治療の効果予測——

起塚 裕美 吉廻 毅 黒田 寛
吉川 和明 杉村 和朗 石田 哲哉
(島根医大・放)

進行卵巣癌に対し腹腔内抗癌剤リザーバー治療を試みた5例6回を検討対象とした。リザーバー設置後 ^{99m}Tc -MAA 370 MBq (10 mCi) を、500 ml の生理的食塩水とともに10-20 ml/min で注入後 planar および SPECT 像を撮影した。シンチグラムを拡散型：肝表面を含めた腹腔内全体に拡散，限局型：局所に貯留し腹腔内に拡散しない，の2型に分類した。拡散型は4例，限局型は2例あった。限局型は腫瘍自身ないし治療後の癒着が原因で，それ以上のリザーバー治療の効果が期待できないと考えられた。拡散型は腫瘍への抗癌剤到達が良好で，治療の効果が期待できると予測された。腹腔シンチグラフィはリザーバー治療の効果予測および治療方針決定に有用な検査法である。

19. サルコイドーシスにおける ^{67}Ga シンチ所見について——Panda & Lambda sign を中心に——

由水多津子 副島 京子 折橋 典大
金子 隆文 河村 光俊 菅 一能
中西 敬 (山口大・放)

サルコイドーシスの診断に ^{67}Ga シンチは有用とされているが，今回，肺門縦隔リンパ節，特に右傍気管，両側肺門，気管分岐部への ^{67}Ga 集積所見 (Lambda 像) および涙腺，唾液腺の集積増加所見 (Panda 像) に注目し，サルコイドーシスの ^{67}Ga シンチグラフィ所見について他疾患と比較検討したので報告する。

両所見を同時に呈する症例はサルコイドーシス以外では認められず，Lambda 像 + Panda 像はサルコイドーシスを積極的に疑う所見と考えられた。

20. neurinoma および neurofibroma の ^{67}Ga シンチグラフィ

折橋 典大 菅 一能 由水多津子
副島 京子 金子 隆文 河村 光俊
中西 敬 (山口大・放)

89年7月より90年6月までの間，当院にて neurinoma ないし neurofibroma と診断された症例の Ga シンチ所見を検討した。内訳は頭頸部4例，胸部1例，四肢1例の計6例で，5例に集積を認めなかった。集積のあった1例は副咽頭腔の neurinoma で，中心壊死が見られ，Ga はこの部が欠けて辺縁に強い集積を示していた。病理学的には炎症性細胞の浸潤は見られず，腫瘍細胞の増殖が比較的盛んな部位に集積したものと思われた。一般に，末梢神経線維腫瘍に対する Ga の集積の有無は，良・悪性を反映するとする報告も多いが，本症例のように，まれに偽陽性例もあり，注意が必要である。

21. ^{99m}Tc -HM-PAO 腫瘍イメージングの経験

河村 光俊 菅 一能 折橋 大典
由水多津子 金子 隆文 副島 京子
中西 敬 (山口大・放)

肺癌例を中心に悪性腫瘍が疑われた臨床例に対して ^{99m}Tc -HM-PAO 腫瘍血流シンチを施行し得たので，他の腫瘍シンチと比較しながら検討を行った。対象の内訳は悪性腫瘍が疑われた10例11病変で，原発性肺癌7例，縦隔腫瘍1例，喉頭癌と原発性肺癌の重複癌1例，気管支肺炎1例である。 ^{99m}Tc -HM-PAO 約750 MBq (20.27 mCi) 静注後30分以内に planar 像の撮像を行った。7例については，引き続き SPECT 画像を撮像した。

SPECT 画像の併用により腫瘍への集積率の改善がみられ，全例で腫瘍部への集積が認められた。しかし無気肺部，炎症巣にも集積がみられ，HM-PAO の集積は腫瘍に特異的なものではないと考えられた。また TI シンチ早期像と非常に類似した集積分布を示した点は興味深い。